

東京フィルハーモニー交響楽団が滝呂小にやってくる

校長 鈴木雄詞



文化庁が主催する「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」は、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、トップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行い、子どもたちの豊かな感性をはぐくむ一環として行うものです。「これはぜひとも子どもたちに聞かせたい。」と思い、東京フィルハーモニー交響楽団の公演に応募したところ、1月19日（火）に、80名のフルオーケストラがやって来て、滝呂小学校の体育館で演奏していただけることになりました！

東京フィルハーモニー交響楽団は、1911年（明治44年）創立の長い歴史をもち国際的にも活躍するオーケストラです。2014年度に文化庁から長期採択を受け、8年間で東日本大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校115校、関東・東海・中国地区の小中学校61校を訪問。その後は九州・沖縄地区の担当として25校の小中学校を巡回し、さらに東北・関東地区の担当として15校の小中学校を訪問されています。2026年度は関東・東海地区の担当として14校の小中学校を訪問し、ワークショップとオーケストラ公演を開催する予定です。その中の1校が「滝呂小学校」というわけです。

1月の本公演に先立って、9月16日（水）に6名の楽団員の方が来校され、全校児童対象にワークショップを開催されました。本公演で一緒に歌う校歌や、ベートーベン作曲「運命」に合わせて行うボディーパーカッションを練習しました。さらに、シベリウス作曲「フィンランディア」にみんなで歌詞をつけておいてほしいという課題までいただきました。本公演では、オーケストラの皆さんと一緒に楽しい時間が過ごせるように、みんなで練習していきます。

なお、1月19日（10：40～12：10 予定）の本公演当日は、保護者の方も入場していただけます。申し込み方法等の詳細は、公演日が近づいてきたらお知らせします。

学校の様子は
ホームページからも
ご覧いただけます→

